

## 第2回海田東小学校校舎建替検討部会 議事要旨

日 時：令和6年5月28日（火）14：00～15：15

場 所：海田町役場3階会議室

出席者：海田町教育委員会教育長，海田町教育委員会教育委員，海田東小学校区連合会長，  
 畝自治会長，海田東小学校校長，海田東小学校教員（教務主任）

事務局：海田町教育委員会事務局職員

### 議事要旨

（以下 ○：委員の発言，●：事務局の発言）

#### 1 基本構想策定に係るこれまでの検討状況及び今後のスケジュールについて

- 1月に第1回検討部会を開催，2月に町立小学校の教職員に対し基本構想骨子案についての説明及び海田東小学校保護者の皆様と町立小学校の教職員を対象とした海田東小学校建替えに関するアンケートを実施した。

4月には，1回目の保護者説明会を開催し，基本構想骨子案及びアンケート調査の結果について報告した。

今後については，本日の第2回検討部会及び7月上旬の第2回保護者説明会において基本構想素案について説明し，その後，検討部会や保護者説明会でいただいた御意見を踏まえ，基本構想最終案を7月中旬の第3回検討部会で説明する。最終的には9月上旬の基本構想策定を目指す。

#### 2 海田東小学校校舎建替に係る整備方針（案）について

- 当初は本館のみを建替対象として検討を進めてきたが，第1回検討部会やアンケート調査の結果，保護者説明会での御意見を踏まえ，本館に加えて，新館，給食室を一体的に建て替えることとする。

なお，給食室については，町立中学校の給食についても，海田東小学校において，集中的に調理し提供することを見据えて整備することとする。

また，現在，町民センター内にある児童クラブについては，児童の安全の確保，利便性の向上の観点から，建替え後の校舎に移設することとする。

建替対象の追加等に伴い，基本構想骨子案で示した構成について見直しを行った上で，基本構想素案を作成している。

主な変更点としては，「1 海田町立学校の校舎建替の基本理念」，「4 海田東小学校新館・給食室・体育館の現状と課題等について」，「11 児童からの校舎建替に係る意見」を追加している。

なお，本館・新館・給食室の一体的な建替えなどの方針については，基本構想素案の説明の中で議会に諮っていく予定としているため，現段階では，あくまで案であることを御理解いただきたい。

### 3 海田東小学校校舎建替基本構想素案について

- 素案の記載内容について、ポイントとなる箇所（黄色マーカー部分）を中心に説明する。

「1 海田町立学校の校舎建替の基本理念」は、「つくる(みんなの居場所をつくる)」、「つづく(学校の伝統や歴史がつづく)」、「つながる(地域の未来につながる)」の3つをキーワードとしており、この基本理念のベースとなる考え方については、2ページの黄色マーカーで色付けした箇所のとおりである。

「2 海田東小学校の概要等」については、海田東小学校の建物等の概要を記載している。本館に加え、新館・給食室を一体的に整備するという方針を踏まえ、「(2) 建物概要」には体育館も含めた全ての施設を記載している。

「3 海田東小学校本館の現状と課題等」については、令和4年度に実施した「海田東小学校本館老朽化詳細調査」の結果や、これを踏まえた方向性について記載しており、結論として、「将来にわたって長く使用を考える場合は、長寿命化改良工事よりも建替えの方が効率的」としている。

「4 海田東小学校新館・給食室・体育館の現状と課題等」については、新館・給食室・体育館の現状と課題などについて記載している。例えば、新館については、本館と新館で高学年と低学年が分断されており、学年間の縦割り活動などの教育活動において支障が出ていることや、第1回の検討部会や保護者説明会でいただいた御意見などについて記載している。

「5 基本構想策定の前提条件」については、海田町の概要や海田東地区の現状と課題について記載しており、こうした課題を踏まえたまちづくりの方向性について、「6 海田東小学校周辺のまちづくりの方向性」で記載している。

「7 海田東小学校の沿革等」については、割愛する。

「8 令和6年度海田東小学校 学校経営計画等」については、海田東小学校の目指す学校像や教育活動の目標などを示す学校経営計画の最新版を示すとともに、学校の強み・特長を(6)で示している。

例としては、児童数が多いことで、ダイナミックな教育活動を展開できていること、様々な背景をもつ児童が在籍し、学校生活での日々の触れ合いを通じて、文化的な背景の違いなどを日常的に感じることができていることなどを記載している。

「9 児童数・学級数等の将来見通し」では、将来的な海田東小学校の児童数を示している。児童数においては令和7年度をピークに減少する見込みとなっているが、1学級の編成人数の変更に伴い、今後も22学級が続く見通しであり、海田東小学校の強み・特長でもある、ダイナミックな教育活動を継続的に展開できる裏付けになると考えている。

「10 学校職員、保護者等からの校舎建替に係る意見」では、令和6年2月に実施したアンケート調査の結果や、学校関係者からのヒアリング、保護者説明会での質疑を通じていただいて御意見等をまとめている。

12 ページでは、建替えをする際に最も大切にしたい項目について、13 ページでは、

配慮してほしい教室等について、保護者、教職員別に回答結果を記載している。また、14・15 ページでは、校舎等の機能などに関する意見をまとめている。

「11 児童からの校舎建替に係る意見」では、令和6年3月に町長が海田東小学校を訪問し、児童代表とランチミーティングを通じて、新校舎に盛り込みたい機能や設備等について意見交換を行った際に、児童たちから出たアイデアなどをまとめている。

「12 海田東小学校校舎建替に係る整備コンセプト・整備方針」については、まず、整備コンセプトを(1)のとおり、「海田東小学校の強み・特長（ダイナミックな教育活動・多様性等）や、海田東地区の将来像（豊かな自然とにぎわいが調和した新たな拠点創出に向けたまちづくり）を踏まえた 学び舎づくり」としている。

次に、整備方針については、(2)のとおり、当初は本館のみの建替えの検討を進めていたが、中ポツでお示ししている2つの理由から本館・新館・給食室を一体的に建て替えることとしている。

そのうえで、児童の安全確保・利便性向上の観点から、町民センター内にある児童クラブを新校舎に移設することや、体育館については、現在、建物の安全上・機能上の問題が生じていないことから今回の建替えに含めないことを記載している。

このように海田東小学校の建物全体の方向性を示した上で、新校舎の整備方針を①～④のとおり、整理している。整理にあたっては、基本理念や整備コンセプトなどに加え、児童や保護者・学校教職員等からの意見や、国の示す方向性も参考にしている。

整備コンセプトを踏まえた工夫の例（イメージ）を黄色マーカーで着色して示している。例えば、学校の強み・特長としてダイナミックさ、多様性を挙げているが、「① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する」の「イ 多様な学習活動を展開できる教室空間」の上から二つ目のマルや「ウ 様々な教科等の教室の有機的な連携・分担による多様な活動の展開」のマルでお示している例は、ダイナミックな教育活動に資するものと考えている。

また、「エ 読書・学習・情報のセンターとなる学校図書館の整備」の上から二つ目のマルは、学校図書館の工夫の例であるが、異学年交流をしやすい環境を作ることにより、学校の強みである多様性をさらに高めるものと考えている。

なお、現状の整備方針は、①～④が並列のような見た目となっているが、整備コンセプトを踏まえた順番に項目を並べかえたり、創意工夫の例をより充実させたりするなど、海田東小学校の校舎建替としての特色が出るように修正していきたいと考えており、本日いただくご意見も踏まえて修正し、最終案に反映する予定である。

19 ページで「13 想定スケジュール」を示しているが、本館のみの建替えを検討していたときと同じく、令和11年4月の新校舎の供用開始となるよう、今後も必要なプロセスを踏んでいきたいと考えている。

- 子供の人数も教職員の人数も多いことが、学校の強み、特長面であげられたダイナミックさにつながっており、教育活動の例でいえば、運動会や学習発表会などの場で、大人数の前で子供たちが表現活動を行っている。また、教室を飛び出して学習することができる空間づくりは子供たちの学習の広がりにつながるもので大切にしたい要素であ

るし、こうした空間が校内にあることで、海田東小学校の強み、特長を生かした教育活動の充実を図ることにつながることから、大変よいのではないかと。

- 児童の意見を見ると、学校生活を踏まえた意見が多数あり、興味深かった。児童クラブの移設に関しては、動線や運営時間の整理をどうつけるか、お互いが気持ちよく共存できる関係が望ましい。
- 3月に視察した東京都の学校では、同じ建物の中に小学校と児童クラブが共存している学校があった。学校の出入り口と児童クラブの出入り口を別に設け、セキュリティ面でも切り分けがされていた。そのような先進地の事例も参考にしながら今後の計画・設計を進めていく。
- 多目的室については、学年全体での使用や複数学年の集会などに活用したい。また、職員室・印刷室などの管理諸室については、適切な広さをもったまとまりのある整備とすることで、より働きやすい職場にしてほしい。
- 限られた土地での計画となるため、アンケート調査の結果等を踏まえ、今後の計画にあたっては、必要な設備についてより精査していくことが大切だと感じた。
- 工事中に通常の体育や運動会などの行事がどれだけ制約されるのか気がかりである。また、中学校の給食も一緒に作るということか。
- 御見込みのとおりである。現状、中学校給食については委託契約を行い、町外から配送を行っている。委託料の減額等にもつながり、将来的なコストの削減に資するものと考えている。
- 温かい給食になると子供も喜ぶだろう。限られたスペースではあるが、一体的な整備とすることでよい配置になるのではないかと。
- 給食調理を賄う中学校は、2校ともか。海田中学校のみか。
- 現在検討しているのは中学校2校ともである。
- 新しい時代の学びについて、環境面（エコ）についてあまり触れられていないと感じる。持続可能な開発（SDGs）のための視点は入れないのか。
- 「脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境」の方向性として、太陽光パネルの設置や木材利用の促進などが国で示されている。海田東小学校においては、整備方針の優先順位をつけていく中で、現状は項目立てしていない内容である。
- 素案で項目としてあげなければ検討されなくなってしまう危険があるので、今後取舍選択していくこととして、基本構想段階では項目に立てた方がよいのではないかと。
- 今回のアンケート調査では、回答者が3項目を選択する質問があったが、その場合は、母数を総回答数ではなく、総回答者数（保護者 359 人、教職員とし 87 人）とした方が、今回の調査の趣旨に沿ったものになるのではないかと。
- ご指摘を踏まえ、修正する。
- 児童クラブとは別に、地域のコミュニティ機能も学校へ入るのか。
- 地域の方も使用できるコミュニティルーム等を設けたいと思っている。
- 今の学校は入りにくい。行事の際は立ち入ることもあるが、普段から学校に入れるというのはあまりイメージできない。地域の中心に位置づくような学校にしてほしい。

- 地域に開放された学校，児童クラブの取り扱いについては重要なポイントになると考えている。時間帯によって，壁の仕切りを移動できる共有スペースということも検討している。限られたスペースの中でどう配置していくのか，今後計画していきたい。  
 一体的な整備を行うことで，防犯上安全性は確保したうえで，避難所としての機能等が正常に働くよう検討していきたい。
- 児童の送り迎えなどについては動線が整理できるのか。
- 一体的な整備とすることで，敷地を柔軟に活用し，配慮しながら検討していく。
- 学校図書館の整備についてだが，地域に開放しやすい配置という記載がある。学校図書館については，学校図書館法上，地域に開放することを前提としていない。余裕があれば，地域が使うことも可能という認識のもと，書きぶりを修正すべき。
- 現在の想定では放課後や休日の児童クラブ等の子供の利活用を検討している。書きぶりについては再度確認する。
- 建替後の校舎の配置や高さによって音や日の当たり具合が現状と変わることも想定される。また，給食の配送を行うとなると，トラックの進入等も発生することから，今後計画を進めていく中で適切な時期に近隣への説明も行っていく予定である。
- 学校，児童クラブ，地域，社会体育団体など様々な人が使う学校になると思う。整備にあたっては，実際の使用時のルール作りも検討していく必要がある。
- 承知した。いただいた意見も参考にしながら，基本構想も含め，今後の計画を立ててまいりたい。
- 基本理念や整備コンセプト等については，本日示した方向性でよいか。
- 問題ない。海田東小学校が理想とする教育を実現できる施設としてほしい。
- 承知した。
- 今後の予定については，7月中旬の第3回検討部会で最終案の提示となる。本日いただいた各委員からの御意見や検討事項についての整理を事務局で行い，最終案に反映させていく。その際にも忌憚のない御意見をお願いしたい。  
 より良い学校施設整備のため，今後ともよろしくお願いしたい。